

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	胃がんリスク検査			事業番号	011-189
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 28 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等) 堺市がん対策推進条例、堺市胃がんリスク検査の実施に関する要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等) 本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数) 35歳～49歳の市民 (約4.8万人)						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態) 胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんによる死亡者の減少を実現するため。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ヘブシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ抗体検査により、胃がん発生のリスクを調べる検査を実施。受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など 検査内容 ・問診 ・血液検査 (ピロリ菌の有無、胃の萎縮度の判定) ・自己負担金：無料 (令和3年度まで) 検査の結果により、要精密検査となった方には精密検査を案内している。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等) 一般社団法人堺市医師会						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 受診者数	人	目標値	1,400	2,000	2,600		
		実績値	1,813	2,523			
		達成率	130%	126%			
当該指標を選定した理由		胃がん発生のリスクを把握し、市民の健康の保持増進を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年の実績値を上回る目標値とする。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
12 実施医療機関数	カ所		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	198	198	198		
		実績値	198	198			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		検診受診の機会を適切に確保するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		市内検診実施協力医療機関数					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	胃がんリスク検査	事業番号	011-189
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	6,199	7,566	16,733	13,443	13,276
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	6,199	7,566	16,733	13,443	13,276
14 人件費 (b)	820	810	820	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	7,019	8,376	17,553	14,263	14,096

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R2
16 事業費内訳	印刷製本費 (枠外)	R2	決算		R2	決算		
		R3	予算	116	116	R3	予算	
	印刷製本費 (枠)	R2	決算	300	300	R2	決算	
		R3	予算	103	103	R3	予算	
	通信運搬費 (枠)	R2	決算	28	28	R2	決算	
		R3	予算	26	26	R3	予算	
手数料 (枠外)	R2	決算	29	29	R2	決算		
	R3	予算	94	94	R3	予算		
胃がんリスク検査	R2	決算	13,086	13,086	R2	決算		
	R3	予算	12,937	12,937	R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 受診者数	人	1,813	2,523
② 上記①にかかる年間経費	千円	8,376	14,263
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	4,620	5,653
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度より、対象年齢を40歳～49歳の間に1回から、35歳～49歳の間の1回と対象年齢の拡充を行った。また、令和2年度より2年間、自己負担金無償化の実施により受診者数は増加しており、事業の目的を達成している。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>検診体制を整備しているため、希望する者全員の受診が達成できている。</p> <p>今後もわかりやすい受診案内の作成やがん検診等も含めた市の各種検診の周知啓発を行い、健康の保持増進に寄与するよう取り組む。</p>
----	--